

何から始める？

自治体のデジタル化、

実装のための **第一歩**

デジタル化について、「具体的にどう動き始めるべきか…」「全国の実務的な事例を知りたい！」自治体の皆様からのそのような声にお応えして、四国財務局は国の機関と連携し、DX化を実装している全国の自治体の取組みを学び担当者同士が生の声で意見交換できる場を創出します！自治体のデジタル化をテーマに、様々な分野で原課のご担当者様に聞いてほしい、そんな博覧会のような場をオンラインで提供できればという願いを込め、以下のとおり企画しました。

**開催時期/方法** R6年12月以降順次/オンライン

### ダイアログ内容

テーマごとに、デジタル化を実装している自治体の担当者から取組みの背景、方法、効果について講演いただきます。単なる事例紹介ではなく、担当者レベルで「どう一歩を踏み出したか」について深掘します。また、テーマに関連する国の機関からも、補助金などの支援メニューを説明します。興味がある講師とのダイアログ（意見交換）の場も用意しています！

**主催：四国財務局 + α（共催機関）**

地方創生支援に取り組む四国財務局の企画に対し、各テーマ(分野)を所管する国の機関にもご賛同をいただいております。講師(事例)の選定や支援メニューの説明など、参加いただく皆様により有益な情報を提供できるよう協働してまいります。

問合せ先

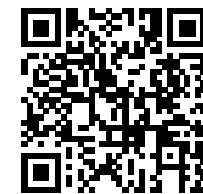
四国財務局総務部総務課企画係  
kikaku@sk.lfb-mof.go.jp  
087-811-7780(家奥、西尾)

四国財務局プレゼンツ//

# 自治体 デジ博

第4回

R7. **2/19** (Wed.)  
10:00~12:00



お申込みはこちらから >>  
【登録期限:2月12日(水)】

「環境」

講演①

### 地域水循環の可視化を通じた 地域循環共生圏構築

▶高知県土佐町企画推進課  
課長補佐(企画担当)兼 SDGs推進室長  
尾崎 康隆 様



水源域と利水地域の自治体が連携し、持続可能な水源の保全及び涵養等の実現を目指す取組みを実施。リスクや効果の可視化により円滑な連携を構築されています。

講演②

### 集団資源回収交付事務のDX化

▶福岡県北九州市環境局  
循環社会推進課 主査 浦田 俊介 様



町内会等が回収した古紙や古着に対する奨励金交付事務について、申請手続きを廃止し、全国初の自動交付システムを市職員が作成されています。

講演③

### 地域・企業のGXを推進するための 自治体によるDX活用提案

▶株式会社Sustech  
CARBONIX/松山営業所  
Sales Specialist 高橋 泰郎 様



GHG排出量の算定・可視化の支援等を実現するクラウド型脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」の活用についてご説明いたします。

講演④

### 環境省の支援メニュー

▶中国四国地方環境事務所四国事務所  
環境対策課 課長補佐 大淵 鉄也 様



共催機関である環境省中国四国地方環境事務所より、GXに関する支援メニューを紹介いたします。

### ▶タイムテーブル

10:00~	開会挨拶	
10:05~	事例講演①~④	20分程度×4事例
11:25~	個別意見交換	①~④の個別トークルームを用意。ご興味のあるルームに入室し、質疑・意見交換をしていただきます。15分程度×2回
11:55~	閉会挨拶	

## Coming soon...

交通、観光、農業、行政手続き  
(5月頃までで調整中)